

BSOの 情報てんこもり

2024年1月29日号

制作・発行：(株)BSO 支援企画部

TEL：(06)6351-5836

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆2024年は「感動の経営」

社員、個客、そして社会全体に感動を与えることによって真の価値を生み出す感動の経営が求められる。デジタル技術、科学技術が進歩し続ける中でも、人間らしさ、つまりアナログの力の重要性は増している。2024年は感動の経営を実現し、デジタルとアナログの調和の中で新しい企業づくりを考えなければいけない。

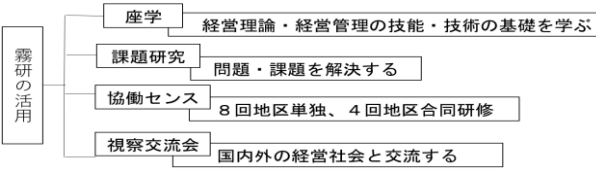
(BSO西山)

◆2024年度 霧研（次世代経営幹部養成研修）参加者募集！

霧研では実践に基づく協働力を養い、新たな課題に対応しながら新しい価値を創造する中核人財の育成に取り組んでいます。4月より2024年度が新たに始まります。新時代の企業づくりを担う経営幹部の育成にぜひご活用ください。

～カリキュラム～

- 第1部 マネージメントプロデューサーの必要性
- 第2部 中核人財・プロデューサーが具備すべき要件
- 第3部 経営・管理の技術
- 第4部 社会と共存共栄
- 第5部 新時代への挑戦



～開催要項～

- *期間：2024年4月～2025年3月
- *研修場所：高松、大阪
- *開催方式：1泊2日合宿、15:00～翌日11:00、原則として1回/月
- *指導講師：(株)BSO 代表取締役 所長 西山 輝
- *定員：地域ごと10名まで

◆「初級管理職の育成」

これまで段階的な人財育成について取り上げてきました。

今回は「初級管理職の育成」に焦点を当て、その役割と必要性、修得すべき要素について深掘りしていきます。

新入社員

入社3～5年

初級管理者

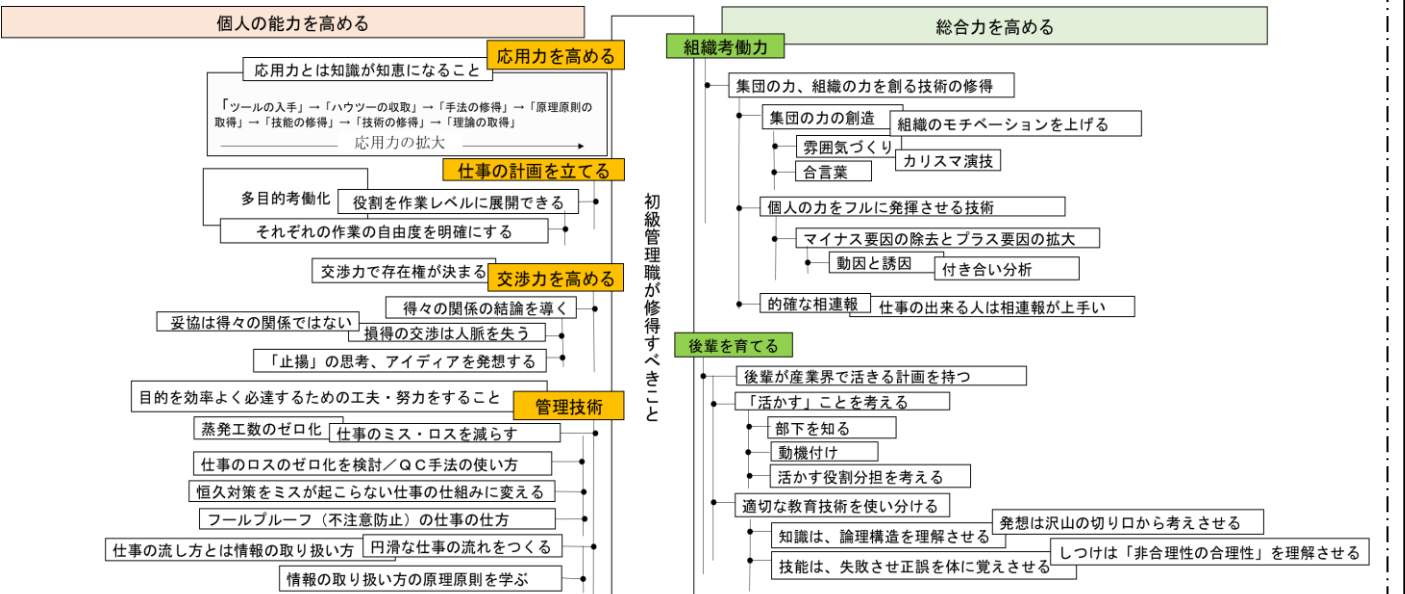
中核人財

《第一線の初級管理者の育ち方が企業の未来を創る》

初級管理職は組織の最前線で活動をする監督職である。監督職はチームや組織の活性化をおこなう。日本ではこのような監督職が不足している傾向にあり、これが多くの企業が直面する発展の障壁の一つとなっている。現場で自らも積極的に活動しながら組織をリードし成果を出す役割を担う初級管理職の存在は組織運営の原動力となっている。

《初級管理職が修得すべき要素》

下図は初級管理職が修得すべき要素である。これらは役割を果たすための基礎であり、単に知識の伝授ではなく、実践的な経験の蓄積と継続的に学ぶ環境の整備が必要である。



詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々に知っていただく為に発信しております。（お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで）

